

**平成 27 年度**

**秋田大学教育文化学部**

**編入 学 生 募 集 要 項**

出願期間 平成 26 年 8 月 25 日(月)～8 月 28 日(木)

試 験 日 平成 26 年 9 月 24 日(水)

**秋田大学教育文化学部**

〒010-8502 秋田市手形学園町 1 番 1 号

☎ 018-889-2507

**平成 2 7 年度**  
**秋田大学教育文化学部編入学試験日程**

出願期間	平成26年 8 月25日(月)～ 8 月28日(木)
試験日	平成26年 9 月24日(水)
合格者発表	平成26年10月21日(火)
入学手続	平成26年11月 6 日(木)～ 11月 7 日(金)

**入学志願者の個人情報保護について**

本学では、提出された出願書類より志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

**【利用目的】**

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にとっては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

# 目 次

## 募集要項

1	募 集 人 員	-----	2
2	出 願 資 格	-----	3
3	出 願 手 続	-----	4
4	選 抜 方 法	-----	5
5	試 験 場	-----	6
6	配慮を必要とする入学志願者の事前相談	-----	6
7	合格者の発表	-----	8
8	入 学 手 続	-----	8
9	そ の 他	-----	9
	アドミッション・ポリシー	-----	10
	参考1（各コース・選修の特色）	-----	13
	参考2（各コース・選修ごとの取得可能な教員免許状の例）	-----	16

## 本学所定の用紙（とじ込み）

- ◎ 入学志願票
- ◎ 受験票・写真票
- ◎ 入学志望理由書
- ◎ 検定料振替払込受付証明書貼付台紙・払込取扱票
- ◎ あて名票
- ◎ 受験票等送付用封筒
- ◎ 出願用封筒

## ★ 問い合わせ先

秋田大学教育文化学部学務担当

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

☎ 018-889-2507

※ 秋田大学教育文化学部では平成26年4月に、下記のとおり改組を実施しましたのでお知らせします。

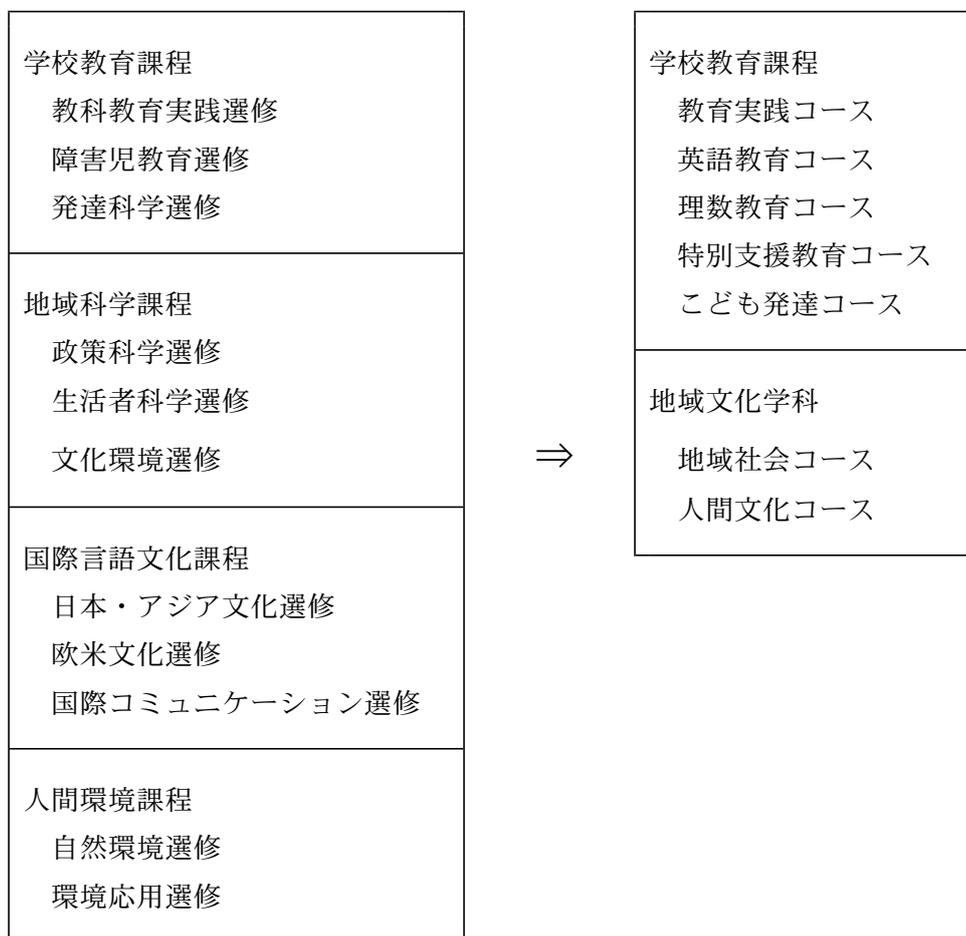
教育文化学部では、学校教育課程、地域科学課程、国際言語文化課程および人間環境課程の4課程から構成されていました。

平成26年度改組では秋田県の教育施設と教員養成ニーズを反映した教員養成課程として、学校教育課程に「教育実践コース」、「英語教育コース」、「理数教育コース」、「特別支援教育コース」、「こども発達コース」の5コースを設けました。

また、従来の地域科学課程の社会科学系分野と国際言語文化課程の人文科学系分野を併せ、かつ、従来の人間環境課程の情報科学分野を導入することにより、学際的な特徴を持つ地域文化学科を設置し、「地域社会コース」、「人間文化コース」の2コースを設けました。

改組前（平成27年度3・4年次生）

改組後（平成27年度1・2年次生）



秋田大学教育文化学部は人間存在をめぐる現代的課題を総合的に探究し、教員および新たな生活文化の創造を担う人材を育成します。

本学部は、学校教育課程（教育実践コース、英語教育コース、理数教育コース、特別支援教育コース、こども発達コース）、地域文化学科（地域社会コース、人間文化コース）の1課程1学科7コースで構成されています。

地域社会に開かれた教育文化学部づくりをいっそう推進するため、平成12年度より新たに編入学生を募集しております。

**2年次編入学生は、学校教育課程の教育実践コース・英語教育コース・理数教育コース・特別支援教育コース・こども発達コースの5コースで、それぞれ若干名募集します。**

また、入学前の取得単位状況により教育実践コース希望者は改組前の旧教科教育実践選修3年次に、こども発達コース希望者は旧発達科学選修3年次に編入学になります。

3年次編入学生は、改組前の旧地域科学課程・旧国際言語文化課程・旧人間環境課程の3課程で、それぞれ若干名募集しますが、旧人間環境課程では教員免許は取得できません。（旧地域科学課程と旧国際言語文化課程は、3年次編入を原則としますが、教員免許(中学校・高等学校)を希望する場合は、入学前の単位修得状況により2年間で取得できない場合があります。）

## 1 募 集 人 員

### 2 年次編入

課程・コース		募 集 人 員
学校教育課程	教育実践コース	若 干 名
	英語教育コース	若 干 名
	理数教育コース	若 干 名
	特別支援教育コース	若 干 名
	こども発達コース	若 干 名

### 3 年次編入

課 程	募 集 人 員
地域科学課程	若 干 名
国際言語文化課程	若 干 名
人間環境課程	若 干 名

## 2 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者

- (1) 短期大学を卒業した者（平成27年3月までに卒業見込みの者を含む。）
- (2) 高等専門学校を卒業した者（平成27年3月までに卒業見込みの者を含む。）
- (3) 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者（平成27年3月までに在学および修得見込みの者を含む。）
- (4) 大学を卒業した者（平成27年3月までに卒業見込みの者を含む。）
- (5) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者（平成27年3月までに修了見込みの者を含む。）

※出願資格のうち、平成27年3月までに所定の要件を満たす見込みで受験した合格者が、入学までに所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学許可を取り消します。

### 3 出 願 手 続

(1) 出 願 期 間                    **平成26年 8 月25日(月) ～ 8 月28日(木) (必着)**

持参の場合：9時から16時30分まで

郵送の場合：郵送期間を十分考慮して送付してください。

(2) 出 願 方 法

次の書類等を一括し、本要項に添付されている出願用封筒に入れて提出してください。なお、郵送の場合は必ず「**速達簡易書留**」としてください。

① 入学志願票および 受験票・写真票	本学所定の用紙（本要項とじ込み）に、所要事項を記入してください。 注 1)
② 写 真	出願前3か月以内に撮影したものの2枚（4cm×3cm <sup>たてよこ</sup> ）を、本学所定の受験票および写真票の所定欄に貼付してください。
③ 検 定 料 検定料振替払込 受付証明書貼付台紙	<p>検定料は30,000円です。</p> <p>本学所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し、原則として平成26年8月11日（月）以降にゆうちょ銀行又は郵便局で振り込んでください。（振込手数料は負担願います。）ATM現金自動預け払い機は使用しないでください。振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には氏名、志願課程等を記入してください。</p> <p>出願手続完了後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。ただし、検定料の払込後に出願しなかった場合は、検定料を返還しますので、原則として平成26年9月1日（月）から9月5日（金）までの間に、秋田大学経理・調達課出納担当（TEL018-889-2234）に申し出てください。</p>
④ 成績証明書	出身又は在学の学長（学部長等）が証明し、厳封したものを提出してください。
⑤ 卒業（見込） 証明書又は 在学証明書	大学、短期大学又は高等専門学校を卒業した者は「卒業証明書」を、平成27年3月までに大学、短期大学又は高等専門学校を卒業見込みの者は「卒業見込証明書」を出願資格(3)により出願する者で、在学中の者は「在学証明書」および「受験許可書」を提出してください。「受験許可書」を発行していない場合は、自筆にて任意の用紙にその旨の内容を記載し、提出してください。
⑥ 入 学 志 望 理 由 書	本学所定の用紙（本要項とじ込み）に、志願者本人が記入してください。
⑦ あて名票	合格通知用および入学手続書類送付用あて名票(本要項とじ込み)に、それぞれ志願者の郵便番号、住所および氏名を記入してください。
⑧ 受 験 票 等 送 付 用 封 筒	本要項に添付されている封筒に志願者の郵便番号、住所および氏名を明記し、切手(362円分)を貼付してください。
⑨ 在留資格が明記され た住民票の写し	日本国内に在住している外国人は、市区町村長の発行する「在留資格が明記された住民票の写し」を提出してください。

注 1) 学校教育課程教育実践コース志望者は、志願票に入学後希望する専門領域(教科等)を記入してください。専門領域(教科等)は、次のとおりです。

国語、英語、社会、数学、理科、家庭、音楽、美術、保健体育

(3) 出願書類の提出先

秋田大学教育文化学部学務担当 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

(4) 出願についての留意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 受け付けた出願書類の返還および記載事項の変更は認めません。
- ③ 出願手続等に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。

#### 4 選 抜 方 法

成績証明書，入学志望理由書，学力検査および面接の結果を総合して判定します。

(1) 学 力 検 査

基礎的科目および専門教育科目

(2) 学 力 検 査 科 目

2 年次編入

課程・コース		基礎的科目	専門教育科目
学校教育課程	教育実践コース	英 語	①小論文 ②教育学概論，教育心理学概論から1科目選択
	英語教育コース	英 語	①小論文 ②教育学概論，教育心理学概論から1科目選択
	理数教育コース	英 語	①小論文 ②数学又は理科（物理，化学，生物，地学のうちから2科目選択）
	特別支援教育コース	英 語	①小論文 ②教育学概論，教育心理学概論から1科目選択
	こども発達コース	英 語	教育学概論，教育心理学概論，幼児教育学概論の3科目から2科目選択

注 教育実践コースの「小論文」は、志願票に記載した入学後希望する専門領域(教科等)を選択してください。

3 年次編入

課程	基礎的科目	専門教育科目
地 域 科 学 課 程	英 語	記述問題（希望する選修の問題を選択）
国際言語文化課程	英 語	小 論 文
人 間 環 境 課 程	数学又は理科（物理，化学，生物，地学のうちから2科目選択）	環境応用選修志望者は，数学，情報科学の2分野から1分野選択 自然環境選修志望者には課さない

注 地域科学課程，国際言語文化課程を志望する外国人留学生は，基礎的科目を「日本語」とします。

(3) 学力検査等の日程

平成26年9月24日(水)

課程	基礎的科目	専門教育科目	面接
学校教育課程	9:00~10:00	10:30~12:30	13:30~
地域科学課程			
国際言語文化課程			
人間環境課程		10:30~11:30	

## 5 試験場

(1) 試験場

秋田大学教育文化学部 秋田市手形学園町1番1号

(2) 受験上の注意事項

- ① 試験室ではすべて試験監督者の指示に従ってください。
- ② 試験室では、受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、定規、時計（計時機能だけのもの）メガネ以外の物は、机の上に置くことはできません。
- ③ 携帯電話等の電子機器類は、試験室に入る前に電源を切っておいてください。電源を切った携帯電話等の電子機器類は、かばん等に入れておいてください。
- ④ 試験当日、試験室は8時10分に開場しますので、8時40分までに試験室に入室してください。なお、遅刻限度は試験開始後10分までです。
- ⑤ 試験時間中の答案提出は、原則として認めません。

## 6 配慮を必要とする入学志願者の事前相談

病気・負傷、身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下、「障害等」という。）により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願に先立ち、下記様式に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、下記の期限までに教育文化学部学務担当に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに相談してください。

また、障害等の程度によっては、事前の準備が必要となる場合がありますので、本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき、進路決定等により特別措置が不要となった場合には、その旨教育文化学部学務担当までお知らせください。

なお、事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

(1) 事前相談の期限 平成26年8月8日(金)まで

(2) 相談先 秋田大学教育文化学部学務担当  
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号  
電話 018-889-2507

(3) 様式 (A 4 判) ※本様式のデータが必要な方は教育文化学部学務担当までご連絡ください。

受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書

(教育文化学部編入学試験)

平成 年 月 日

志望課程等	教育文化学部	課程	コース 選修
氏 名 (生年月日)	(昭和・平成 年 月 日)		
連 絡 先	〒 - 電話 - -		
障害等の種類・程度 ※医師の診断書等障害の状況がわかるものを必ず添付してください。			
受験上希望する配慮の内容			
修学上希望する配慮の内容			
出身学校で取られていた特別措置			
日常生活の状況			
出身学校	学 校 名	〒 -	
	所在地および 電 話 番 号	電話 - -	

## 7 合格者の発表

平成26年10月21日(火) 16時(予定)

教育文化学部1号館玄関前に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。(編入学後の年次等は、合格通知書に明記します。)

なお、秋田大学教育文化学部ホームページ (<http://www.akita-u.ac.jp/eduhuman/exam/>) に合格者の受験番号を掲載します。

注) 電話等による問い合わせには一切応じません。

## 8 入学手続

合格者には、入学手続関係書類を送付しますので、下記により入学手続きをしてください。

(1) 入学手続期間 **平成26年11月6日(木)～11月7日(金) (必着)**

(2) 納付金

① 入学料 282,000円(予定額)

② 授業料 (前期分) 267,900円(予定額)

(年額) 535,800円(予定額)

③ 入学料、授業料とも経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合、又は入学前1年以内に、学資負担者の死亡その他特別な事情により納付が困難であると認められる場合には、選考の上、免除等が認められる制度があります。(詳細は、入学手続関係書類でお知らせします。)

注 1) 上記納付金は予定額であり、入学時又は在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

2) 入学料は、入学手続期間中に納入してください。

3) 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

## 9 その他

出願についての照会、過去問題や募集要項の請求および出願書類の提出等は、すべて下記宛てとしてください。

### (1) 募集要項の請求

封筒のおもてに「**教育文化学部編入学生募集要項請求**」と**朱書き**し、返信用封筒（角形2号封筒（33.2cm×24.0cm）に受信者の郵便番号、住所および氏名を明記し、切手（250円分）を貼付したものを）を同封してください。

### (2) 過去問題の請求

過去2年の間に出题された入試問題を公開しています。（ただし、受験者がいなかった選修については作成しておりません。）

① 封筒のおもてに**朱書き**で「**教育文化学部編入学試験過去問題請求**」と記入してください。

② 下記の2点を記入した用紙を同封してください。

・志望の課程、選修名（教科教育実践選修の場合は2ページの注1にある専門領域（教科等）も記入すること。）

・請求者の電話番号（不明点等があった場合にこちらから確認することがありますので、確実に連絡が取れる番号（携帯番号等）を記入してください。）

③ 封筒のうらに請求者の郵便番号・住所・氏名を記入してください。

④ 角形2号封筒（33.2cm×24.0cm）のおもてに受信者の郵便番号、住所および氏名を明記し、切手（250円分）を貼付した返信用封筒を同封し（折ってもかまいません。）、秋田大学教育文化学部学務担当へ郵送してください。

### (3) 募集要項及び過去問題を同時に請求

(1), (2) と同事項を記入し、返信用封筒に切手（400円分）を貼付したものを同封してください。

### (4) 入学試験に関する問い合わせ

返信用封筒（定形封筒に受信者の郵便番号、住所および氏名を明記し、切手（82円分）を貼付したものを）を同封してください。

返信用切手が貼付されていない場合には、要項等の送付はできませんので注意してください。

## 記

秋田大学教育文化学部学務担当  
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号  
☎ 018-889-2507

## 教育文化学部理念・目的およびアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

### ○理念・目的

教育文化学部は人間存在をめぐる現代的課題を総合的に探究し、教員および新たな生活文化の創造を担う人材を養成します。

### ○アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

**教育文化学部では次のような人材を求めています。**

1. 子供に対する理解と教育や保育に強い情熱を持ち、学校および保育関連施設で働こうとする強い意志のある人
2. 児童・生徒との交流に積極的に取り組むことを通して、教育者としての専門性を身に付けようとする人
3. 地域社会のさまざまな問題を、日本全体や世界の状況も視野に入れて考察し、地域社会の活性化に積極的、具体的な提言を行う意欲を持った人

### 学校教育課程

多様な教育的諸課題に対処できるように、豊かな人間性と専門的知識・技術、幅広い教養を基盤とする実践的な指導力を備えた教員を目指す強い意志のある人を求めています。

### 〈教育実践コース〉

**教育実践コースでは次のような人を求めています。**

1. 子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
2. 学校の教員として働こうとする強い意志のある人
3. 学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

**また、入学までに身に付けて欲しいことは次のとおりです。**

- ・ 人間性豊かな教員となるために、高等学校では、国語、地理歴史、公民、数学、理科、英語、保健体育、家庭、芸術の諸科目の能力をバランスよく身につけておくこと。
- ・ 論理的思考能力、言語表現力を養っていくためには、国語（「国語総合」、「現代文」、「古典」）および英語（「英語Ⅰ、Ⅱ」、「リーディング」、「ライティング」）の学習を通じて、基礎的な言語運用能力を身につけておくこと。
- ・ 数理科学的な思考能力を高めるためには、数学（「数学Ⅰ、Ⅱ」、「数学A、B」）の学習を通じて基礎的な数学の力をつけておくこと。
- ・ 実技実践能力を養うためには、保健体育、芸術の学習を通じて技術力や表現力を身につけておくこと。
- ・ 教員として核となる教科をつくるためには、得意な科目の能力を深めておくこと。

## 〈英語教育コース〉

**英語教育コースでは次のような人を求めています。**

1. 教員となることを強く希望し、理論的知識を身につけ実践的能力を養うことに積極的に取り組み、グローバル社会に対応した人材を育成する英語教師となる情熱と意欲を有する人[教員となる情熱と意欲]
2. 英語教育について高い関心があり、英語教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組もうとする意欲を持ち、優れた英語教師になることを目指す人[教師力]
3. 英語力を向上させることについて意欲と情熱を持ち、学習する機会を積極的に捉え、英語力を伸ばすための努力を惜しまない人[英語力]
4. グローバル社会における異文化間コミュニケーションの重要性を意識し、自ら進んで外国の人々とのコミュニケーションを図ろうとする人[異文化間コミュニケーション能力]

**また、入学までに身につけて欲しいことは次のとおりです。**

- ・ 授業を受けるのに必要な英語力を身につけること。具体的な目安は、英検2級以上。  
[English Language Ability]
- ・ グローバル社会で通用するためには、どんな英語学習が有効で、どんな英語教育が行われたらよいかについて考える姿勢を身につけること。[Teaching of English]
- ・ 異文化に対して、具体的な興味関心を持つこと。[Cross-cultural Attitude]

## 〈理数教育コース〉

**理数教育コースでは次のような人を求めています。**

1. 理科教育・数学教育の現代的な諸課題の解決に向けて積極的に取り組もうとする意欲のある人
2. 自然科学に興味や関心を持ち、実験や観察を通じた理科教育に熱意のある人
3. 数学に対する興味と教員になる強い意志をあわせ持った人
4. 数学への理解を深め、数学の学習を通して、自然や社会に対して自ら進んで論理的に考える態度を育てたい人

**また、入学までに身につけて欲しいことは次のとおりです。**

- ・ 自然科学の知識は単に暗記するのではなく、実験や観察を通じて活用し、事物・現象への理解を深めること。
- ・ 身の回りのさまざまな事物・現象に疑問を持つ態度を大切にし、その疑問について科学的に考える習慣を身につけること。
- ・ 自分の考えをわかりやすく表現する基本的な発表技能を身につけること。
- ・ 数学教師を目指す者は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」および「数学B」の5科目の基礎・基本のすべてをしっかりと身につけること。

## 〈特別支援教育コース〉

**特別支援教育コースでは次のような人を求めています。**

1. 障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
2. 特別支援学校や小学校・中学校等で働こうとする強い意志のある人

3. 特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

**また、入学までに身に付けて欲しいことは次のとおりです。**

- ・ 各教科の基礎的・基本的な知識および技能を身につけること。
- ・ 主体的に学習に取り組む態度を養うこと。
- ・ 他の人の意見を聞き、力を合わせて考え、課題解決にあたる態度を養うこと。

### 〈こども発達コース〉

**こども発達コースでは次のような人を求めています。**

1. 子どもに対する理解と教育・保育・心理支援に強い情熱を持つ人
2. 幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わろうとする強い意志のある人
3. 乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や、そうした時期の子どもへの心理発達の支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

**また、入学までに身に付けて欲しいことは次のとおりです。**

- ・ 各教科の基礎的・基本的な知識および技能を身につけること。
- ・ 上記を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を高めること。
- ・ 主体的に学習に取り組む態度を養うこと。

### 〈旧教科教育実践選修〉

- 1 子ども発達や思考などについて理解を深めたいという学習意欲を持っている人
- 2 教育者としての専門性を身につけていくとき、児童・生徒との交流に積極的に取り組める人
- 3 自分の希望する進路について関心を持ち、その実現に向けて努力することができる人
- 4 専門的知識に加え、教育に関する知識と技術を学ぶ意欲のある人

### 〈旧発達科学選修〉

- 1 さまざまな教育現象を読み解く理論に関心を持ち、積極的に探究する人
- 2 心理学に関する課題を自ら見つけ、能動的に学習する人
- 3 乳幼児期の望ましい成長・発達に関して積極的に学習し、実践的に保育・幼児教育に関わる意欲のある人
- 4 教育者としての専門性を身につけ、その実践に向けて努力することができる人

### 地域科学課程

- 1 産業や家族のなかでの様々な問題を社会科学の総合的な成果を踏まえて分析し、何が真に問われているのか、そしてそのために何を行うことが求められているのかという問いかけに実践的に応えていこうという意欲を持っている人
- 2 地域社会における人々の暮らしや地域資源の活用の面等でよりよい方向性を示すためにも、従来のような生産者の効率性・有効性の観点からだけでなく、消費者・生活者の立場と論理をしっかりと確立し、それを企業や行政の活動のなかに生かしていきたいという意欲を持っている人
- 3 地域の特性、歴史的伝統・文化について自分の調査を通して深い理解と誇りを持つと同時に、

狭い世界に自己満足的に閉じこもるのではなく、グローバルな発想にも立って、新しい環境のなかで地域づくりに具体的な提言を行おうという意欲を持っている人

## 国際言語文化課程

人間の相互理解のために、日本文化の深い理解を基礎にして、各国文化の異同を相互に認めあい、豊かなコミュニケーション能力を発揮しながら国際交流を行うことができる人材を養成します。本課程では、次のような資質を持った学生を求めています。

- 1 日本を含む世界諸地域の社会・言語・文化に対して幅広い関心を有し、この問題に情熱をもって取り組める人
- 2 英語およびドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・朝鮮語、さらには古典ギリシア語・ヘブライ語などさまざまな言語を修得する一方で、日本語へのさらなる理解を深め、それを基盤とした国際的なコミュニケーションの問題に根気強く取り組める人
- 3 日本文化の世界への発信や、各国文化の交流と相互理解の問題に関心を有し、青少年への教育や文化交流・地域間協力などに貢献しようとする人

## 人間環境課程

人間環境課程では、我々をとりまく環境を人間と自然との共生の視点から、科学的に分析し理解するために、理論と実践を通じて自然科学・環境科学・数理科学・情報科学・工学を広く学びます。そのために本課程では次のような資質を持つ学生を求めています。

- 1 環境問題に興味と情熱を持って取り組める人
- 2 実験やフィールドワークなどを粘り強くおこなえる人
- 3 人間生存環境を考えるうえでの基礎をなしている自然科学諸分野の学習に、積極的に取り組める人
- 4 環境科学・数理科学・情報科学・工学を学び、高度情報化する地域社会に貢献しようとする人

## 【参考 1】各コース・選修の特色

学校教育課程	教育実践コース	小学校教員の養成を主とし、中学校教員養成も含めて小中連携に対応できるとともに、子どもの心身の成長発達についての理解を深め、全国トップクラスの学力を支える高度の実践力を持った教員を養成します。
	英語教育コース	小中高の連携による英語教育を実践できるとともに、秋田の次世代のグローバル人材を育てるために、英語力のみならず異文化間コミュニケーション能力を持った教員を養成します。
	理数教育コース	理科・数学の体系的な知識と指導法を身に付け、理科や数学のおもしろさを子どもにつたえることができ、実感を伴った理解へと学習を発展させることのできる教員を養成します。

	<b>特別支援教育コース</b>	特別支援学校および小・中学校等で特別支援教育を担うとともに、インクルーシブな環境で、発達の特性や特別なニーズに対応した支援を実践できる教員を養成します。
	<b>こども発達コース</b>	幼稚園や保育所の教員・保育士の養成を主とし、小学校教員養成も含めて、幼保小連携に対応できるとともに、人間の生涯にわたる発達過程や、幼児教育・保育と学校教育の全過程を見通しながら省察できる教員を養成します。
	<b>旧教科教育実践選修</b>	今日の初等教育の諸課題に積極的に対応できる実践力の育成をめざした教育研究を基盤とし、中等教育の国語、数学、理科、社会、家庭、音楽、美術、体育、英語などの教科の目標、内容、方法などについて学びます。音楽、美術、スポーツ・健康科学については、実践や理論など、専門に関わる教育研究をおこないます。
	<b>旧発達科学選修</b>	乳幼児から高齢者にわたる生涯発達を視野に入れ、教育学、教育心理学、幼児教育学の立場で、基礎的および専門的な教育研究をおこないます。その中には、現代的課題である、いじめ、不登校、家庭崩壊・学級崩壊などの教育問題を解明し、解決するための実践的な教育研究も含まれています。

<b>地域科学課程</b>	<b>政策科学選修</b>	産業や家族の変化によって、様々に立ち現れてくる地域社会の現代的な諸問題を、社会科学の視点から総合的に分析し、何が問題なのかを理解し、その問題解決に向けて何ができるかを具体的に考え、実践できる人材の養成をめざして教育研究をおこないます。
	<b>生活者科学選修</b>	地域社会における人々の暮らしや地域資源の利用を、調査や実験により実証的に学び、よりよい生活を送る上で欠かせない生活者の視点を、行政や企業活動に取り入れていける人材の養成をめざして教育研究をおこないます。
	<b>文化環境選修</b>	地理学と歴史学の視点から、地域の特性である伝統や自然・文化の知識を深め、その特性を生かした地域間の交流や、21世紀の新たな社会環境に向けた地域づくりができる人材の育成をめざして教育研究をおこないます。

国際言語文化課程	<b>日本・アジア文化 選修</b>	外国語能力と情報活用能力を基盤にして，アジアの文化・言語・歴史，日本とアジアの交流，日本の言語・民俗・文学，漢字文化の発祥の中国の言語と文化・思想，韓国・朝鮮の言語と文化，日中比較文化，日韓・日朝比較文化等について教育研究をおこないます。
	<b>欧米文化選修</b>	現代世界の基盤を成している欧米の歴史・文化の本質を，各地域の言語・文化・社会のあり方に視点をおいて，主として人文科学的に研究し，国際社会における諸問題の理解と国際的な文化交流の発展に寄与する方法について教育をおこないます。
	<b>国際コミュニケーション選修</b>	国際社会に生きる人間の相互関係としてコミュニケーションのあり方とその方法論を学際的に把握することによって，複雑な現代国際社会が示している様々なコミュニケーションの問題を総合的・実践的に考察して，異文化間の相互理解と共存・共生に貢献するための方法について教育研究をおこないます。

人間環境課程	<b>自然環境選修</b>	身近な生活環境から地球環境にまで広くみられる多様な現代的課題に対して，幅広い知識と正確な判断力で理解と解決ができる人材を育成するために，フィールドと実験室での調査・実験を積極的に取り入れ，自然と人間社会の統一的理解をめざした実践的な教育研究をおこないます。
	<b>環境応用選修</b>	人間生存環境の諸課題に対応できる人材を育成するために，生活の科学技術と情報科学技術とを融合させた実践的な教育研究をおこないます。また，自然と人間とのコミュニケーションの創造・発展をめざして，人間生存生態系を設計していくための基礎的数理科学の実践的教育研究をおこないます。

【参考 2】各コース・選修ごとの取得可能な教員免許状の例

◎必須(卒業要件) ○可能

		小学校 教諭1種	中学校 教諭1種	小学校 教諭2種	中学校 教諭2種	高等学校 教諭1種	特別支援 学校教諭 1種	幼稚園 教諭1種
学校教育課程	教育実践コース	◎	◎ (国、数、 理、社、英、 家、音、美、 保体)			○	○	○
	英語教育コース	○	◎ (英語)	◎		○	○	○
	理数教育コース	○	◎ (理科もしくは は数学)	◎		○	○	○
	特別支援教育コース	◎ (どちらか)		○	○ (国、数、 理、社、英、 家、音、美、 保体)	○	◎	○
	こども発達コース※	◎	○ (国、数、 理、社、英、 家、音、美、 保体)		○ (国、数、 理、社、英、 家、音、美、 保体)	○	○	○

※ こども発達コースの編入学生は小学校1種を主免とするコースのみにになります。  
編入学生は保育士資格の取得はできません。

		小学校 教諭1種	中学校 教諭1種	小学校 教諭2種	中学校 教諭2種	高等学校 教諭1種	特別支援 学校教諭 1種	幼稚園 教諭1種
学校教育課程	教科教育実践選修 中学校国語、数学、理科、社会、 家庭、音楽、美術、保健体育の 免許状を取得する者	◎	○	○	◎	○	○	○
	教科教育実践選修 中学校英語の免許状を 取得する者	○	◎	◎	○	○	○	○
	発達科学選修 ※	◎	○	○	○	○	○	○

※ 発達科学選修の編入学生は小学校1種を主免とするコースのみにになります。  
編入学生は保育士資格の取得はできません。

		中学校 1種国語	中学校 1種数学	中学校 1種理科	中学校 1種社会	中学校 1種英語	中学校 1種家庭
地域科学課程	政策科学選修				○		
	生活者科学選修						○
	文化環境選修				○		
国際言語文化課程	日本・アジア文化選修	○			○		
	欧米文化選修				○	○	
	国際コミュニケーション選修				○	○	
人間環境課程	自然環境選修						
	環境応用選修						

		高等学校 1種国語	高等学校 1種数学	高等学校 1種理科	高等学校 1種情報	高等学校 1種地歴	高等学校 1種公民	高等学校 1種英語	高等学校 1種家庭
地域科学課程	政策科学選修					○	○		
	生活者科学選修								○
	文化環境選修					○	○		
国際言語文化課程	日本・アジア文化選修	○				○			
	欧米文化選修					○	○	○	
	国際コミュニケーション選修					○	○	○	
人間環境課程	自然環境選修								
	環境応用選修								

注1) 学校教育課程は教員免許の取得が必須ですが、地域科学課程および、国際言語文化課程および人間環境課程では、教員免許の取得は希望者のみです。地域科学課程と国際言語文化課程は、3年次編入を原則としますが、教員免許を希望する場合は、入学前の単位修得状況により2年間で取得できない場合があります。

2) 人間環境課程では教員免許の取得はできません。

3) 編入学生はいずれの課程でも学芸員資格の取得はできません。

不明な点は、出願する前に秋田大学教育文化学部学務担当へ問い合わせください。 電話:018-889-2507

# 秋田大学教育文化学部 案内図



- 秋田駅前（西口）バスのりば12番から  
秋田中央交通バス手形山経由大学病院線  
秋田大学前下車・徒歩約1分
- 秋田駅東口から秋田大学まで  
徒歩約15分（約1,300m）